

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	寝屋川市新ごみ処理施設(工場棟)	階数	地上6階、地下1階
建設地	大阪府寝屋川市寝屋南一丁目2番1	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	193 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2015年5月29日
敷地面積	16,379 m ²	作成者	日立造船 梅田慎一
建築面積	2,749 m ²	確認日	2015年6月1日
延床面積	9,646 m ²	確認者	日立造船 中野裕二



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 82%
③上記+②以外の 82%
④上記+ 82%

目標値: 46 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.6

音環境	2.7
温熱環境	2.4
光・視環境	2.6
空気質環境	2.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

機能性	2.8
耐用性	3.5
対応性	3.3

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.4

建物外皮の	5.0
自然エネ	4.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

水資源	3.4
非再生材料の	3.6
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	3.7
地域環境	3.3
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
寝屋川市ごみ処理施設建設基本計画で掲げている施設のコンセプト(基本理念)である「環境対策に優れた安全な施設」、「循環型社会・低炭素社会の実現をめざす施設」、「周辺環境と調和し、市民に親しまれる施設」及び「経済性に優れた施設」を実現するために、特に環境負荷低減性に配慮した計画とした。	特になし。
Q1 室内環境 床にタイルカーペット、天井にロックウール吸音板を使用。	Q3 室外環境(敷地内) 既設緑地を極力保存し、新たに植栽する範囲においてもその範囲の半分以上を樹木の植栽で計画。
LR1 エネルギー S造外壁にALC版を採用することで熱負荷を抑制。ごみビット、炉室にトップライトを採用。LED照明など高効率な設備機器を採用。	LR3 敷地外環境 大気汚染防止法による排出基準より厳しい自主基準値を採用。職員用駐輪場、来庁者用駐車場及び駐輪場を計画。屋外照明器具は適正な配置・照度とし、遮光フードを採用。
Q2 サービス性能 事務室の天井高は2.7mとし、外壁側に窓を設置。防汚性の高い建材、塗装、コーティングを採用。建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。	
LR2 資源・マテリアル 雨水利用システムを導入し屋外散水に利用。仕上材の分離が容易なLGC壁工法及び7ヶt707を採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0022

Osakafu-新築・既存 2015V1.0

【建物概要】		建物名称	寝屋川市新ごみ処理施設(工場棟)					
		建設地	大阪府寝屋川市寝屋南一丁目2番1号					
		用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	○	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.7	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3.0	4	
					住戸・宿泊			
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				4.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.4			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		外皮の断熱性能に配慮するとともに、エネルギー消費量の低減に配慮した設備計画として いる。						